

2023年度

環境活動レポート



東信工業株式会社

報告期間 2023年6月～2024年5月

作成日 2024年12月23日

目 次

環 境 方 針		1
I 事業所の概要		2～3
II 環境目標とその実績		4
III 主要な環境活動の内容及び		
取組結果の評価・次年度の取組内容		5
IV 環境関連法規への違反、訴訟の有無		6
V 代表者による全体評価と見直し結果		7
VI その他の社会貢献		8～9

(別添資料1)

東信工業株式会社 環 境 方 針

〈環境理念〉

東信工業株式会社は、安心安全なライフラインの構築及び維持管理事業を通じて環境との調和、共生を目指し「最適消費・最適施工・最小廃棄」にて継続的な環境保全活動に貢献します。

〈環境指針〉

1. 事業活動における環境への負荷を最小限にします。
2. 環境負荷を低減するため、以下の項目を推進します。
 - ①二酸化炭素の排出量削減
 - ②廃棄物削減及びリサイクル化
 - ③水資源の使用効率の向上及び排水量の減少
 - ④グリーン購入
 - ⑤化学物質の適正管理
3. 環境活動レポートを作成し、取り組み状況を公表します。
4. 環境関連法規などを遵守します。
5. 全従業員に環境方針を周知し、環境保全の意識を高め、改善活動を推進します。

制定日：2009年7月15日

改訂日：2010年7月1日

東 信 工 業 株 式 会 社

代表取締役 山 口 裕 央

I 事業所の概要

1 事業所名及び代表者名

東信工業株式会社
代表取締役 山口裕央

2 所在地

東京都足立区青井3-12-10
TEL 03-3849-5357(代表)
FAX 03-3849-7957
e-mail ea21@t-kk.jp

3 環境管理責任者等

- ・ 環境管理責任者 伊藤元喜
 - ・ 工事部 環境推進委員 伊藤元喜
 - ・ 企画管理部 //
 - ・ 経理部 //
- 伊藤元喜
伊藤元喜
門脇奈美
谷田部綾子

4 事業内容

建設業（下水道工事、水道工事、道路舗装工事、建築工事）

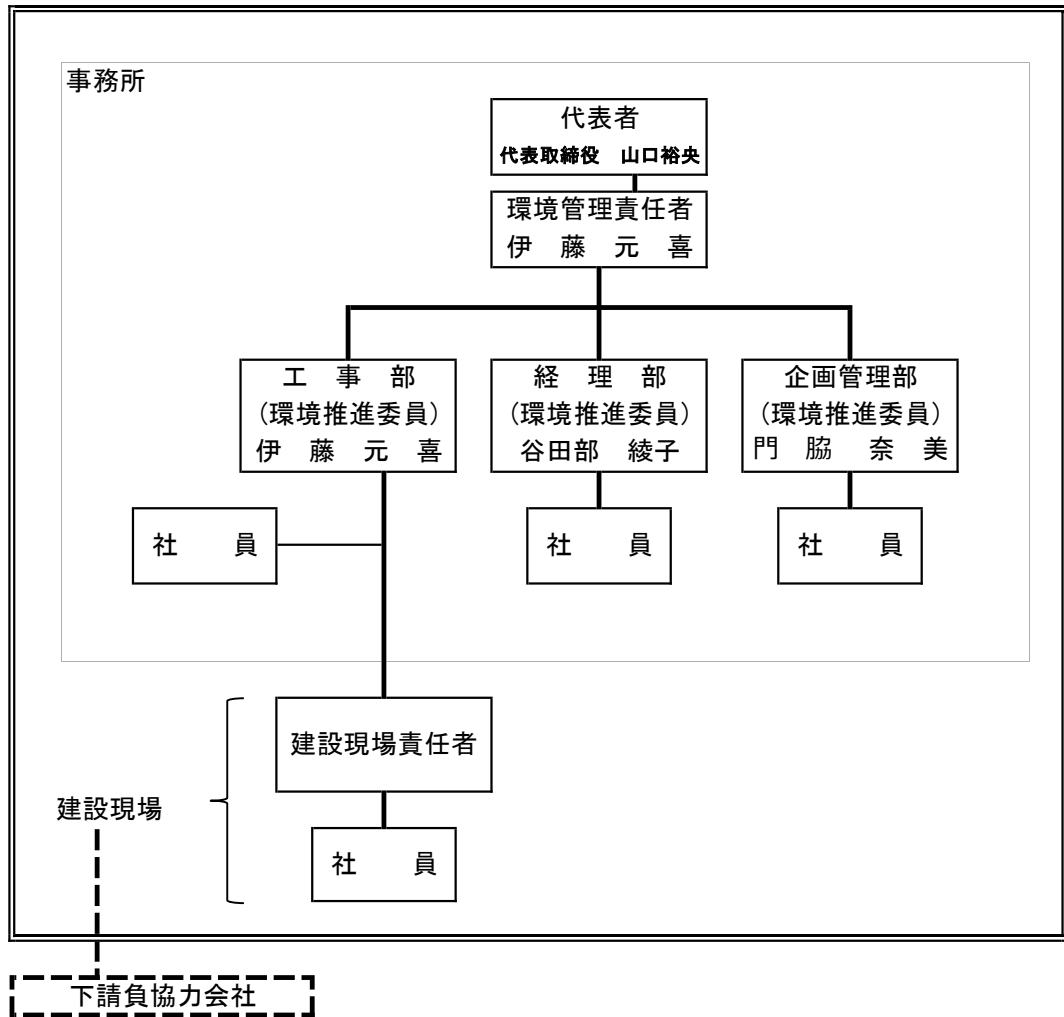
5 事業の規模

活動規模	単位	2023年度
		2023年6月～2024年5月
売上高	百万円	1,687
工事等の件数	件	383
従業員	人	40
事務所床面積	m ²	184.11
倉庫床面積	m ²	93.1
資機材置場面積	m ²	301

6 対象範囲

全組織・全活動

7 実施体制



	役割・責任・権限
代 表 者	・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人を用意 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ・ 環境経営実績向上に向けた課題とチャンス明確化 ・ 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境活動レポートの承認
環境管理 責任者	・ 環境経営システムを構築、運用する ・ 環境目標及び環境活動実施計画書を作成 ・ 環境活動の取り組み結果を代表者へ報告 ・ 環境目標、環境活動実施計画書／実績表の作成 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・ 環境活動レポート作成 ・ 環境関連法規等の取りまとめと遵守評価表
工 事 部 経 理 部 企画管理部 (推進委員)	・ 自グループにおける環境経営システムの実施 ・ 環境目標及び環境活動計画の実施、その達成状況の報告 ・ 環境活動におけるチェックリストの記録・運用管理 ・ 自グループの問題点の発見、是正、予防処置 ・ 文書記録の保管
全従業員	・ 環境方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚 ・ 環境経営システムへの自主的参加

Ⅱ 環境目標とその実績

※ 当社の事業活動における環境負荷を「環境負荷の自己チェック」で把握し、次の項目を環境目標として策定した。環境目標の詳細内容及び実績は下記の通りである。

年度 事項		基準年度	2023年度			2024年度	2025年度	2026年度
「環境方針に」 掲げた事項		年度実績 6月～5月	目標値	年度実績 2023年6月 ～2024年5月	目標値 ・達成状況	目標値	目標値	目標値
二酸化炭素の排出量削減	二酸化炭素 排出量削減	2010年度						
	電力の削減 (従業員1人当たり)	948kWh/人 356kg-CO2	493kWh/人 201kg-CO2	368kWh/人 150kg-CO2	○	△48.5% 488kWh/人 199kg-CO2	△49% 483kWh/人 197kg-CO2	△49.5% 478kWh/人 195kg-CO2
	CO2総量	15692	12526	9348		12396	12269	12142
	二酸化炭素 排出量削減	2010年度						
	都市ガスの削減 (従業員1人当たり)	93.3m3/人 197kg-CO2	△32.6% 62.9m3/人 137kg-CO2	79.2m3/人 171kg-CO2	×	△33% 62.5m3/人 136kg-CO2	△33.5% 62m3/人 135kg-CO2	△34% 61.5m3/人 134kg-CO2
	CO2総量	8692	7278	9085		7225	7172	7119
	二酸化炭素 排出量削減	2011年度 軽油	4.24	5.10	×	前年度の実績値以下 5.10	前年度の実績値+1% 5.15	前年度の実績値+2% 5.20
	CO2総量	59116	46713	56188		56188	56738	57289
自動車燃料の削減 (km/L)	2011年度 ガソリン	13.79	13.74	○	前年度の実績値以下 13.74	前年度の実績値+1% 13.87	前年度の実績値+2% 14.01	
CO2総量	18272	33939	33816		33816	34135	34480	
廃棄物の削減	廃棄物 排出量削減	2010年度						
	一般廃棄物の削減 (従業員1人当たり)	48.9kg/人	39.1kg/人	63kg/人	×	38.4kg/人	37.9kg/人	37.4kg/人
	廃棄物 排出量削減	2011年度						
産業廃棄物の削減 再資源量／建設副産物合計(%)	99.57%	基準年度を 下回らない	98.80%	×	基準年度を 下回らない	基準年度を 下回らない	基準年度を 下回らない	
排水量の減少	水道水の削減 (m3/人)	2010年度 7.32m3/人	2.89m3/人	2.60m3/人	○	2.85m3/人	2.81m3/人	2.77m3/人
化学物質の適正管理	化学物質の 適正管理	2010年度 —	化学物質 の適正管 理	購入量・使用量・ 保管量管理 毎月実施	○	化学物質の適 正管理	化学物質の適 正管理	化学物質の適 正管理
環境配慮事項	自らが施工・販売・提供 する製品及び サービスに関する項目	2010年度 —	斜式SS工法 既設管路耐震化 実施	斜式SS工法マンホール数 112個 耐震化実施人孔数 168個	○	斜式SS工法 既設管路耐震化 実施	斜式SS工法 既設管路耐震化 実施	斜式SS工法 既設管路耐震化 実施
	グリーン購入の促進 再生資源／全体量	—	実態の把握を 踏まえ設定	実態把握した 69.06%	○	実態の把握を 踏まえ設定	実態の把握を 踏まえ設定	実態の把握を 踏まえ設定

【目標達成状況】○:達成 △:未達成であるが基準値より改善 ×:未達成

2021年度における二酸化炭素の総排出量:126,469.9kg-CO2

電気の二酸化炭素排出係数 : 0.408kg-CO2/kWh

2022年度から資源ごみを一般廃棄物に計上

Ⅲ 主要な環境活動の内容及び取組結果の評価・次年度を取組内容

環境活動計画の内容(実施担当)	取組結果の評価・次年度の取組内容
電力の削減(工事部、経理部、企画管理部) ① 不要照明の消灯 (各グループごとに責任者がチェック) ② PC電源をまめに切る (各グループごとに責任者がチェック) ③ 不要なコンセントを抜く	達成できた。 不要な電力を使わないよう、会社全体で節電の意識を持って取り組んでいた。今後も社員一人一人が不要な電力を削減するよう心がけていきたい。
都市ガスの削減(経理部、企画管理部) ① 冷房28℃、暖房20℃設定 (各グループごとに責任者がチェック) ② 退社時必ず空調の電源を切る (最後に退社する者がチェック)	達成できなかった。 冷暖房の温度管理、人数に応じた設定や電源管理をより意識して目標達成を目指したい。夏場は扇風機を利用して冷風を循環させたり、冬場はブランケットを活用しながら引き続き省エネに取り組んでいきたい。
自動車燃料の削減(工事部、企画管理部) ① 最短ルートの確認 ② エコドライブの実施 (アイドリングストップ、急発進・急停車はしない)	達成できた。 アイドリングはしないように、朝礼で呼びかけている。軽油は目標を達成することができなかったのも、安全に気を付けながら最短ルートでの走行やエコドライブを心がけたい。ガソリンも引き続きエコドライブを心がけていく。
一般廃棄物の削減(経理部、企画管理部) ① 分別の徹底 (ペットボトル、缶、びん) ② 一般廃棄物の量を削減する (マイボトル、弁当を持参する)	達成できなかった。 ゴミを捨てる際にはかさばらないよう工夫したり、弁当ごみ削減のための宅配弁当利用や、ペットボトル削減のための給茶機の利用やマイボトルの持参などの取り組みは引き続き徹底していきたい。
産業廃棄物の削減(工事部) ① 3Rを意識する。 ② 廃棄物の分別を行い、個別に処分する。 ③ 処分する前に、再利用できるものに関して検討し、廃棄物の削減に取り組む。	達成できなかった。 指定材料以外のものは再生資源を利用することを徹底し、再資源化に取り組んでいきたい。
水道水の削減(経理部、企画管理部) ① 食器を洗う時、手を洗う時などこまめに蛇口を閉める ② 洗濯物のまとめ洗い ③ トイレの消音器使用	達成できた。 今後も衛生管理に取り組みながら、無駄な水は使わないよう節水の意識を持って、水道水の削減に努めていきたい。
化学物質の適正管理(工事部) ① 購入量管理 ② 使用量管理 ③ 保管量管理	管理出来ている。 原則現場での使い切りとすることを徹底できている。使い切り出来ない場合は一時保管時の管理徹底、他現場で使用するなど工夫している。
環境配慮事項(工事部) ① 人孔上部補修工事 ② 既設管路耐震化工法 ③ グリーン購入	SS・耐震の施工量も安定している。 KY活動もしっかり取り組み、安全な施工ができている。今後も安全管理・品質管理を徹底し、販路拡大を目指していきたい。 活用できている。 可能な限り再生資源を利用し、再生率を高めていく

IV 環境関連法規への違反、訴訟の有無

当社に適用される主な法規は以下の通りで、これらの環境関連法規への違反はありませんでした。
 なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

適用環境法令等	当社の対応状況	遵守状況
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 (環境確保条例)	敷地内工事については、施主と協議のうえ、適切に対応する。	対象工事なし → 評価結果: 良好
騒音規制法	特定建設作業を行う際は、区市へ事前届出する。	2024.5.31 区役所への届出書の提出 → 評価結果: 良好
振動規制法	特定建設作業を行う際は、区市へ事前届出する。	2024.5.31 区役所への届出書の提出 → 評価結果: 良好
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 (環境確保条例)	指定建設作業を行う際は、敷地境界上の騒音基準値を守る。	2024.5.31 低騒音の機械を使用 → 評価結果: 良好
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 (環境確保条例)	指定建設作業を行う際は、敷地境界上の振動基準値を守る。	2024.5.31 低振動の機械を使用 → 評価結果: 良好
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	保存している委託契約書とマニフェストを確認する。 産業廃棄物の一時保管時、保管場所の掲示板を確認する。 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の控えを確認する。 産業廃棄物処理計画実施状況報告書の控えを確認する。	2024.5.31 5年間保管している → 評価結果: 良好 保管場所の掲示を確認 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の控えを確認 産業廃棄物処理計画実施状況報告書の控えを確認
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	建設リサイクル法対象工事については、元請事業者であれば、特定建設資材の処理等に関する計画書を発注者へ交付し、説明した控えを確認する。 元請事業者であれば、発注者が役所への建設リサイクル法に基づく届出をするのを、サポートする。 元請事業者であれば、リサイクル等が完了(工事完了)した時は、発注者へ書面で報告するとともにリサイクル実施状況に関する記録を保存する。	2024.5.31 発注者への届出書の提出 → 評価結果: 良好
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 (環境確保条例)	自社保有のディーゼル車は、車検証により、初度登録から7年経過しているかどうかチェックする。 7年以上経過しているディーゼル車は後付けの排出ガス低減装置が必要かどうかチェックし、必要な場合、対応する。 ディーゼル車の給油の控えにより、正規のガソリンスタンドで給油していることをチェックする。 自動車運転手に、アイドリング・ストップを励行していることを確かめる。	2024.5.31 車検証を確認 納品書確認 ドライバーに確認 → 評価結果: 良好
使用済み自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	自社保有の自動車を廃車する場合、登録業者へ引き渡し、「使用済み自動車引取証明書」をもらう。	対象車両なし → 評価結果: 良好
足立区廃棄物の処理及び再利用に関する条例	足立区の収集・運搬のルールに従って、ゴミを出していることを確認する。	2024.5.31 有料ゴミ処理券の添付 → 評価結果: 良好
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	3か月に1回簡易点検を行い、点検等の履歴は保存する。 冷凍空調機器を廃棄する場合、登録業者に引き渡し、「回収依頼書」、「引取証明書」をもらい保管する。	2024.5.31 簡易点検の記録を確認 対象機器なし

V 代表者による全体評価と見直し結果

代表者による評価

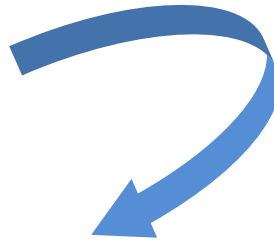
[環境方針] 見直しの必要性： 有 ☒ 無	今後も遵守する。
[環境目標] 見直しの必要性： 有 ☒ 無	
[環境活動計画] 見直しの必要性： ☒ 有 無	状況に応じて、目標数値の再設定を検討したい。
[実施体制] 見直しの必要性： 有 ☒ 無	
[環境経営システム] 見直しの必要性： 有 ☒ 無	今後も全体会議(環境コーナー)を通して周知をし目標達成できるよう努力する。

VI その他の社会貢献

* ペットボトルキャップ回収・リサイクル



会社にペットボトルのキャップを集めるBOXを設置



集めたペットボトルのキャップを

足立区役所へ持っていきました

実施日：2024年4月22日



東信工業株式会社 様



足立区温暖化対策キャラクター

この度は、ペットボトルキャップの回収にご協力をいただき、心よりお礼を申し上げます。

ペットボトルキャップは、民間事業者が無償で収集し、プラスチックの再生原料に加工・販売され、その対価の一部で世界の子どもたちにワクチンが提供されます。

ご提供いただいた16.3kg約8,150個のペットボトルキャップは、ポリオワクチン約12.2人分に相当します。

足立区は、「地球にやさしいひとのまち」としてリサイクルに努力をしております。これからも皆さんと心をひとつにして、世界の子どもたちと地球環境のために頑張ってまいりますので、今後も引き続きご協力をお願いします。



足立区温暖化対策キャラクター

令和6年4月22日

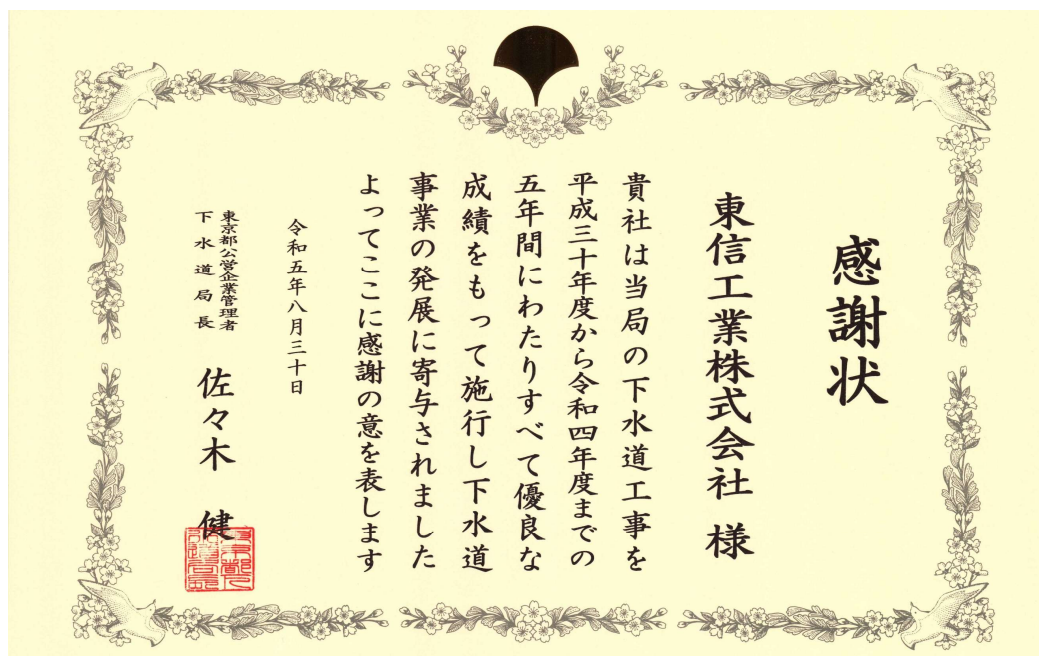
足立区長 近藤 やよい

持参した16.3kg(約8150個)のキャップは
世界のこどもたちに提供されるポリオワクチン
約12.2人分にかえることができました

* 工事部

- ・下水道局から五年連続優秀成績で感謝状をいただきました。

授与日： 2023年8月30日



- ・下水道メンテナンス協同組合から能登半島地震の災害復旧支援で感謝状をいただきました。

授与日： 2023年5月23日

